



市長 からの 手紙

67 外国籍市民会議

川越市には、外国籍市民会議という組織があります。外国籍市民が地域社会の構成員として市政に対して意見を述べる機会を確保し、外国籍市民が共に生きる地域社会を形成するという目的で設置されたものです。市内にお住まいの外国籍の方に委員をお願いして、外国籍市民の日常生活で発生している問題や多文化共生に関することなどについて意見交換をしていただき、行政に対してさまざまなご提案やご意見をいただいています。

昨年度は、「インターネット地図の多言語化について」「コミュニケーションシートの監修について」の2つのテーマについて6回の会議を開催し、検討結果の報告を4月に受けました。

「インターネット地図の多言語化について」に関しては、地図で提供すべき情報として①外国語対応のできるスタッフがいる病院、②夜間・救急病院、③避難所、避難場所、④市役所の土

曜開庁情報、などのご提案をいただきました。

「コミュニケーションシートの監修について」では、実際に「非常時編」コミュニケーションシートを監修してもらい、その成果物をいただきました。

コミュニケーションシートとは、言葉が通じない外国人観光客への接客等の際に、指でさして意思疎通するツールです。市では、昨年度「観光編」「物販編」「飲食編」「非常時編」の4種類のコミュニケーションシートを英語、中国語（簡体・繁体）、ハングル、タイ語で作成し、そのうち「非常時編」について外国籍市民会議に監修していただきました。

検討結果報告書を頂戴した際に、出席委員の皆さんから感想やご意見も伺いました。その際に皆さんが異口同音に言われていたのが、同時期に作成した他のコミュニケーションシートには、不正確な表現や不適切な表現で、疑問を感じるものがあったとのこと。「日本語と外国語の両方ともよく知っている人が作成すべき」「外国語を日常生活で使っていた経験がある人が関わらなければ適切な言葉が分からない」というご意見でした。

外国語を使った文書等を作成するときは、やはり、その言葉を母国語とする人の監修を受けなければならないと改めて感じました。

川越市長 川合善明

ルールを守って
正しく乗ろう

毎月10日は「自転車安全利用の日」です

防犯・交通安全課 ☎224-5721 ☎224-6705

自転車は、子どもから高齢者まで利用する便利な乗り物である一方、事故を起こすと重大なけがをしたり、させたりする恐れがある乗り物です。

県では、自転車の安全な利用について、県民の方の関心と理解を深めるため、毎月10日を「自転車安全利用の日」と定めています。

自転車も乗れば車の仲間です。自転車に乗るときは、「自転車安全利用5則」のルールを確認して安全に利用しましょう。

自転車安全利用5則

ルールとマナーを守り、
安全に利用しましょう



1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
5. 子どもはヘルメットを着用